

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	全てのヒト骨髄性腫瘍が依存する、新規がん幹細胞維持機構の解明
研究代表者	赤司 浩一（九州大学・大学院医学研究院・教授）※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>本研究グループは、白血病幹細胞研究で先駆的な研究成果を上げており、TIM-3 (T cell immunoglobulin mucin-3: 免疫に関わるタンパク質) が骨髄系がん幹細胞に広く発現し、その増殖・維持に寄与していることを明らかにしている。新たに、がん幹細胞の抑制に関わる分子も同定しており、がん幹細胞研究のブレイクスルーとなることが期待でき、この研究の推進により、がん幹細胞研究に新たな概念が生まれる可能性がある。本研究は、当該研究分野をリードする研究であり、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>